

令和元年度第2回市民と議会のつどい（議会報告会）実施報告書

開催日時	令和元年11月10日（日） 午後1時30分 ～ 3時25分	
開催場所	山城支所 別館ホール	
担当議員	班代表者	倉 克伊
	司会者	森本 隆
	報告者	大角 久典
	記録者	西山 幸千子、山本しのぶ
	班員 (上記以外)	高味 孝之、河口 靖子
参加人数	3人	
主な質疑 ・意見等	<p>Q：市の借金（市債）が増えている要因は、何なのか。</p> <p>A：環境の森クリーンセンターの完成、小中学校・幼稚園の空調設備設置。新学校給食センター建設が進んでいる。 また、過去においては小中学校の建て替えもあった。</p>	
	<p>Q：近所に空き家があり、対策が進んでいない。質問にも取り上げられているが、どういう進行状況なのか。また、対処法を確認したい。</p> <p>A：空き家には二種類ある。誰も住んでいない家とすでに廃屋になっている家、後者を「特定空家」と呼ぶ。 「特定空家」が市内に3軒あるが、相続の問題が複雑に絡んでいたりする。民間の所有物なので、行政が簡単に触ることはできない。努力はしている。特に危険な場合や環境にも影響してくる場合は、行政代執行が可能になるが、まだそこまでいたっていない。危険な状態にあると意見があったことは行政に伝える。</p>	
	<p>Q：木津川市の借金が400億円程度あると聞いている。身を切る改革をすべきでないか。若い世代に多額の借金を残すべきではないと思う。</p> <p>A：議会として身を切る改革として、議員定数を合併時の26人から20人に削減してきた。借金もあるが、108億円の基金がある。税収入は35%なので、行財政改革を行っている。H30年度は、4.8億円の行財政改革が行われた。クリーンセンター建設により、木津川市でゴミ処理が可能になり、委託していた年間1億5千万ほど経費の削減ができた。職員給与2%カットを3年間行っている。</p>	
	<p>Q：広域行政を進め、隣の市と協力を進めれば財源をスリム化できるのでは。</p> <p>A：広域行政では消防、山城病院組合、ゴミ処理、し尿処理の4つについて一部事務組合として行っている。</p>	

Q：今年も各地で災害が多発する中、木津川市が11月に出されたパブリックコメントで太陽光発電施設と自然環境等の保全との調和に関する条例（案）を見ると、その内容が規制になっておらず骨抜き条例である。

天井川等の実態にみあった規制条例にして欲しい。

A：先日、産業建設常任委員会で視察した三重県志摩市では、太陽パネルを誘致し、38カ所の設置の要望が出ている。6カ所断念、32カ所設置または認可に向けて動いているが、条例で規制をしていない。その理由は、上位法である

国が自然エネルギーの活用を推進している。上位法に反するような条例は基本的には各地方自治体で作成できない。

亀岡市の条例と比較しても、何カ所かかなり緩い部分がある。感じた疑問等は市民からもぜひパブリックコメントを活用してほしい。

Q：①小学校の洋式トイレ工事の優先順位はどうか。

②運転免許証返納に対するメリットは、

A：①調査が済みしだい、優先順位が決定されるだろうが、工事は夏休みなど子どもたちの長期休暇に行われるので、ほぼ同時期になるのではないかと思う。洋式トイレの比率が50%以下の所から工事が進められ、3年以内に完了予定。

山城中学校は、今年の夏休みに工事が完了した。

②現在、免許証返納者には、コミバスの1日フリー乗車券を10枚返納品として渡している。現在、議会でも返納品の変更としてタクシー代の割引券や加盟店の割引券、また追加の案が何人もの議員から出ている。

免許証返納者が増えることによりバスの必要性が増し、バスのサービスを充実させていかなければならない時期が来ていることを行政側に伝えていかなければならない。しかし、利用者の利便性と維持管理をどうすればいいのかが課題。

Q：①給食センターは、民間委託できないのか。

②横断歩道の白線が消えているが、素早く整備してもらうには、どういう手続きを取ればいいのか。精華町はきちんとしてあるし、グリーンベルトも増えている。

A：①建物は、市が建てているが、運営はすでに民間がしている。

②白線は、総務部が府の公安委員会に伝える流れになっている。全長100kmの道があるが、予算が出るのは年間約1.5km分であり、グリーンベルトについても順位をつけて整備中。

主な質疑
・意見等

質問・要望等で行政側へ報告すべき内容	太陽光発電関連の条例案について、天井川等、地域の実態に考慮して規制条例の要望があったことを報告する。
その他特記事項	

上記のとおり、報告します。

令和元年11月29日

木津川市議会議長 山本 和延 様

令和元年度第2回議会報告会

第3班 代表者 倉 克 伊

Ⓜ